

# 令和7年度「中部DX大賞」 展示ブース設置【第1弾】

◆(株)大增コンサルタンツのDX技術を展示しました！

◆取組名 『DXサポーターが拓く「全社参加型DXモデル」』

**DXサポーターが拓く「全社参加型DXモデル」**  
～DXを推進することで経営数値の向上に貢献～

当社は、さまざまな経営課題を解決するための手段として「全社でのDXによる業務改善」に取り組んできました。その結果として課題としていた経営数値は大きく向上し、業績も向上してきました。

**当社の経営課題** 以前より経営課題解決のための施策に取り組んできたものの、結果の経営改善だけでは限界を感じていました。

**残業時間削減** 以前と比較すると残業時間は減少してきていたものの、3か月の平均残業時間が約18.1時間であった。

**生産性向上** 建設コンサルタント業界平均の生産性と比較すると社会的生産性が高く、取組年度での大きな改善が見られた。

**新卒離職0人** 新卒が戻りが定数を超えて市場競争の中で、優秀な人材の確保・定数は会社の重要な課題の一つであった。

**課題解決** 経営課題解決の方法として「全社参加型DXモデル」の推進を掲げ、さまざまな課題にDXを取り入れて課題解決に挑戦した。

**経営数値の向上** 全社で「全社参加型DXモデル」を活用したDXによる業務改善の取り組みが進み経営数値の向上に大きく寄与。

**残業時間 29.2%削減** 3か月の取組前より、当初1年間と最終1年間で比較した残業時間は29.2%削減された。約13.1時間となった。

**生産性 24.0%向上** 全社でAI等先端テクノロジーを活用することで業務効率化・生産性向上につながり、24.0%の生産性向上につながった。

**新卒離職 0人** 従来の手法だけでなく、新たなテクノロジーを活用した業務手法を取り入れることにより、若手にも働きやすい環境を構築できた。

**当社の「全社参加型DXモデル」の取り組み骨子**

【全社参加型DXモデルの取り組み事例】DXラボ

「全社参加型DXモデル」の取り組みの一環として「DXラボ」では、DX技術を学ぶとともに、業務改善の現場へつなげるための取り組みをしています。「DXラボ」は輪読会形式であり、DXラボメンバーは、全社員の輪読会に参加できる仕組みとしており、業務改善の推進も兼ねて全社で共有し、さまざまな課題解決に全員が一丸となり取り組む環境を作っています。

国土交通省 建設業DX推進センター  
国土交通省 建設業DX推進センター

**「全社参加型DXモデル」の具体的な取り組み**  
～全社員が自ら業務効率化に取り組む文化醸成の成果～

「全社参加型DXモデル」を実現するためには、まずは「DXのためのインフラの整備」を行い、「DXツールの活用促進」を図るとともに、「DXツールの活用促進」に取り組んできました。その結果、「業務課題を社員自らDXを活用して改善していただく」とともに、その成果を全社へ展開・共有していく「全社参加型DXモデル」を推進する企業文化の醸成に繋がりました。

**DXのためのインフラの整備**

業務効率化のためのインフラの整備として、「モバイルPCの整備」「全社員へのスマートフォン（個人）を業務用として提供（Microsoft 365 / Teams / OneDrive / Office 365）などの「いつでも」「どこでも」利用可能なクラウドツールを基盤とした業務環境を整備することで、全社員の働くDX環境を改善しました。

**DXツール等を活用するための環境整備**

DXに対するアレルギーを減らし、DXツール活用を促進するため、①業務課題に合わせたDXツール等での課題解決をサポートする「DX相談窓口」の開設、②全社でのDX推進の取組や取組成果を共有する「DX推進ポータル」の開設、③DXに関する学びを通して「DXスキル」の醸成を実施し、④情報提供やツール導入に際するサポート、全社員が業務ツールやサービスを活用して業務課題をDXサポーターを中心としたメンバーで解決しました。

**DXツールを活用した生産性向上への取り組み**

① 業務日報業務を内製アプリでデジタル化  
Microsoft 365のローコードツール（PowerApps）を活用し、業務日報アプリを開発して、業務日報の分野からシステム利用の効率化や入力負担を軽減するための取り組みを進められたことに加え、利用者の活用促進も進め、業務日報の分野からシステム利用の効率化を実現しました。また、リリース後のユーザーの活用促進も進め、業務日報の分野からシステム利用の効率化を実現しました。結果的に全社での日報に関する業務効率化は、約15%から約34%と約20%の業務効率化が実現されました。

② 生産性向上のための取り組み  
全社で「全社参加型DXモデル」を活用したDXによる業務改善の取り組みを進められたことに加え、業務改善の分野からシステム利用の効率化や入力負担を軽減するための取り組みを進められたことに加え、利用者の活用促進も進め、業務日報の分野からシステム利用の効率化を実現しました。結果的に全社での日報に関する業務効率化は、約15%から約34%と約20%の業務効率化が実現されました。

**DX人材育成につながる文化の醸成**

当社の「全社参加型DXモデル」は、DX推進の取組とDXサポーター制度という全社横断プロジェクトを立ち上げた取り組みです。その結果、さまざまなDX施策を通じて全社員が「自分事」として業務課題の解決に取り組む文化が醸成されました。今後はこの文化をさらに発展させ、DX人材と呼ばれる専門的な人材を育成するとともに、業務課題の解決に向けた生産性向上に自ら取り組む企業への成長を目指していきます。

**業界の生産性向上への貢献**

当社の「働き方改革」である「全社参加型DXモデル」は、大規模なシステム導入などの投資が不要であり、中小企業でも自社内で実現可能なモデルです。当社は、今後さらなる事業拡大を目指すとともに、この取組を業界全体へ広げ、業界の生産性向上に貢献できるように取り組んでまいります。

(株) 大增コンサルタンツ  
DX推進窓口

国土交通省 建設業DX推進センター  
国土交通省 建設業DX推進センター



## 展示期間

令和8年5月19日(火)～令和8年5月29日(金)

# 今後の展示予定

企業名	展示期間	テーマ
(株)大增コンサルタ ンツ	5/19(火)～ 5/29(金)	DXサポーターが拓く「全社参加型DXモ デル」
朝日土木(株)	6/2(火)～ 6/12(金)	SLAM LiDARを用いた点群からの舗装 展開図作成
(株)大林組	6/16(火)～ 6/26(金)	3Dプリンターを活用したプレキャスト部 材の一般土木構造物への適用とその 普及
(株)中村組	6/30(火)～ 7/10(金)	点群データと3次元モデルを活用した施 工の見える化
(株)NIPPO	7/28(火)～ 8/7(金)	デジタル型プルーフローリングシステム の活用

# 今後の展示予定

企業名	展示期間	テーマ
(株)ヒメノ	8/25(火)～ 9/4(金)	"現場と未来をつなぐ見える化"～LiDAR機能のPadでバージョンアップ～
ヤマダイインフラテクノス(株)	9/8(火)～ 9/18(金)	遠隔監視システム(監視当番)による工事現場の安全管理と効率化
(株)エイト日本技術開発	9/29(火)～ 10/9(金)	電磁波レーダによる鉄筋コンクリート床版内部劣化AI解析・診断システム(CQドクター)
技建開発(株)	10/19(火)～ 10/30(金)	電磁波レーダによる鉄筋コンクリート床版内部劣化AI解析・診断システム(CQドクター)
(株)フジヤマ	11/4(水)～ 11/13(金)	世界初ドローン航路で拓くインフラDX

# 今後の展示予定

企業名	展示期間	テーマ
サンコーコンサルタント(株)	12/1(火)～ 12/11(金)	メタバース技術を用いたトンネル点検結果共有への取組み
中央コンサルタント(株)	12/15(火)～ 12/25(金)	高潮時の緊急対策に関する仮想訓練の実施
(株)パスコ	1/26(火)～ 2/5(金)	遠隔操縦と衛星通信を組み合わせたUAV点検の検討